

拡大するインド国での鉄道コンテナ輸送事業を強化

## 現地 CTO<sup>※1</sup> 子会社が自社車両 2 編成を導入、稼働を開始

機動的・信頼性の高い運用の実現で、日系企業需要獲得を目指す

2018年5月25日  
鴻池運輸株式会社

鴻池運輸株式会社(本社：大阪市 中央区、代表取締役兼社長執行役員 鴻池 忠彦)が、Associated Container Terminals Limited (以下「ACTL」、本社：インド・ニューデリー、代表者 Rajesh Rajan Joshi)と合併で 2016 年 10 月にインドに設立<sup>※2</sup>した、鉄道コンテナ輸送事業 (CTO)会社「Joshi Konoike Transport & Infrastructure Pvt. Ltd.」(以下「JKTI」、所在地：インド・ニューデリー)は、このほど自社専用のコンテナ積載用車両 (台車) 2 編成 (45 両/1 編成) が完成し、昨年より開始した弊社サービスへ投入しました。

※1 CTO (コンテナ・トレイン・オペレーター)

※2 2016 年 8 月 10 日発表

<http://v4.eir-parts.net/v4Contents/View.aspx?template=announcement&sid=39331&code=9025>

および <http://v4.eir-parts.net/v4Contents/View.aspx?cat=tdnet&sid=1394664>

JKTI は CTO 事業者として、ACTL の有する豊富な顧客や ICD<sup>※3</sup> 設備、ノウハウなどを活用し、西インド主要 3 港(ナバシェバ港・ピパバブ港・ムンドラ港)とデリー首都圏近郊のファリダバッドに位置する ACTL の ICD を結んだ、インド国内一貫輸送を行っています。同 ICD におけるコンテナ取扱量は約 4,500TEU/月で、他社との共同運行を行い計 8 編成を投入し週 7 便のサービスを提供しています。

※3 ICD (インランド・コンテナ・デポ) = 輸出入業者が海上コンテナ貨物を内陸で受け渡しすることができる保税場所  
そこで、JKTI は今回の自社専用車両 2 編成を投入、より機動的で信頼性の高いサービスを提供することを目指しています。今後は、さらなる輸送量拡大が見込まれる自動車・二輪車・化学品・家電などの日系企業も開拓すべく、今後も追加で 2 編成を自社車両して投入する予定です。

インドでは、2020 年に日印の国家プロジェクトである DFC(Dedicated Freight Corridor/貨物専用鉄道)の開通が予定されており、将来的にトラック輸送から鉄道輸送へのモーダルシフトが加速すると予想されており、特に内陸部のデリー首都圏近郊では、海上コンテナ貨物を輸出入するための鉄道輸送と、その発着場所となる ICD の重要性が増しています。今後、インド国内の貨物量の増加や、DFC 開通により他の ICD への乗り入れが可能になれば、さらなる車両数の拡大も見込まれています。



90TEU を輸送できる 45 両編成



最後尾の乗務員車



安全祈願 (Puja) が行われた

(報道関係者様お問合せ先) 鴻池運輸(株)広報室 岩切、古屋、笠原 tel:03-3575-5753

【ご参考】

■JKTI の概要

JKTI は、主に ACTL ICD を拠点に以下の「ワンストップサービス」を提供しています。

- 1.国際複合一貫輸送サービス（海上コンテナ輸送+鉄道コンテナ輸送）
- 2.ACTL ICD ではコンテナ受け渡しの他に下記付帯サービスをご提供
  - ①輸出入通関 ②コンテナのバンニング・デバンニング ③保管(特に輸入保税貨物の保管)
  - ④定温コンテナの取り扱い ⑤混載貨物の集荷およびコンテナ化

商号	Joshi Konoike Transport & Infrastructure Pvt. Ltd.		
代表者	Hitendra Joshi (Managing Director)	設立	2016年10月7日
本社所在地	M-26, Main Market, Greater Kailash - II, New Delhi - 110048, India		
資本金	230,000千INR(約3億75百万円※)	決算期	3月31日
出資比率	当社 51% Associated Container Terminals Limited 49%		
事業内容	鉄道コンテナ輸送事業		

※使用為替レート 1 INR = 1.63 円 (平成 30 年 5 月 10 日現在)

■ACTL の概要

商号	Associated Container Terminals Limited		
代表者	Rajesh Rajan Joshi	設立	1992年10月22日
本社所在地	M-26, Main Market, Greater Kailash - II, New Delhi - 110048, India 《ICD (インランド・コンテナ・デポ)》 ICD, Sector - 59, Faridabad, Haryana -121004, India		
資本金	120,316千INR(約1億96百万円※)	決算期	3月31日
事業内容	ICD(インランド・コンテナ・デポ)運営		

※使用為替レート 1 INR = 1.63円 (平成30年5月10日現在)

■鴻池運輸(株)の概要

商号	鴻池運輸株式会社 ※東証1部	代表者	代表取締役兼社長執行役員 鴻池 忠彦
大阪本社	大阪府中央区伏見町 4-3-9	東京本社	東京都中央区銀座6-10-1
創業	1880 (明治13) 年 5 月	会社設立	1945 (昭和20) 年 5 月 30 日
資本金	1,710百万円(2018年3月31日現在)	従業員数	約22,000名 (連結)
売上高	276,761百万円 (連結、18年3月期)	営業利益	11,067百万円 (連結、18年3月期)
事業内容	生産工程サービス、一般物流サービス、国際物流サービス、医療関連サービス、 ファッション&アパレルサービス、空港関連サービス、定温物流サービス、 環境関連サービス、エンジニアリングサービス、エコエネルギーサービス		